

おはようございます。2学期最終日となりました。

西高の校長になって過去4回の2学期終業式では、ずっと同じ話をしてきました。皆さんにも2回、同じ話を聞いて貰いました。年末恒例の宿題として、3学期の始業式までに次のことを考えて来て貰いました。それは、「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分に何ができるか、何をしたらよいか。」ということでした。

でも、今回は「世界を良くする」前に、「自分を良くする」ことについて話します。

皆さんが西高に入学した日に、入学式の式辞の中で、私は皆さんにこう話しました。

「世の中には自分の思い通りにならないことが多いものです。辛いことや悲しいことも、たくさんあるでしょう。」と。このことは、今なら多くの皆さんが実感できるのではないのでしょうか。そして、こう続けました。

「でも、それらは一つ一つ、皆さんを成長させる糧になるものです。そうした試練を乗り越えることで、皆さんは間違いなく成長できるのです。」と。

今が試練の時です。皆さんそれぞれの足元にある今の試練を乗り越えることです。そうすることで、より良い自分になれるのです。「より良い世界」の前に、「より良い自分」になろうよ。そのために、自分の足元にある試練が何なのか、落ち着いて見つめ直してみようよ。既に進路希望が決まっている人にとっても、大なり小なり、その人なりの試練が必ずあります。それをきちんと見つめて欲しいと思います。

皆さんがまだこの世に生を受ける前のS.M.A.Pのヒット曲に「夜空ノムコウ」という歌があり、後半にこんな一節があります。

「あの頃の未来に 僕らは立っているのかな  
全てが思うほど 上手くはいかないみたいだ」

私は、この歌を初めて聞いた時から20年間、何度も立ち止まっては自分を見つめ直して来ました。さらに20年遡って、自分が高校3年生の頃に思い描いていた未来の自分に、今の自分はなれているのか、この歌を思い出しては40年間問い続けてきて、いまだに答えは出ません。でも常にそうありたいと思っています。つまり、今でも「あの頃の未来に」立っていたいと思います。

皆さんに残された高校生活は、泣いても笑っても後74日です。全員共通の登校日数は、そのうち僅かに14日です。

嫌なこともあるけど、上手くいかないことも多いけど、不安だったり、悩んだりすることもあるけど、大切な自分、かけがえのない自分だから、より良い自分になろうよ。

自分に甘えたり、誰かのせいにしてしないで、残り74日、登校する14日で、自分自身の高校生活の有終の美を飾ろうよ。

私から皆さんへの今年最後のメッセージは、以上です。

皆さん、今年もお世話になりました。ありがとうございました。年明け1月8日に、またこの場所で、一人残らず全員と元気に再会できることを心から願っています。

Merry Christmas. どうぞ良いお年をお迎えください。